

令和元年十二月第六回人吉市議会定例会の開催に当たり、発言の機会を与えていただきましたことに、心から厚くお礼を申し上げます。

全国的に子供たちを取り巻く諸問題が取り沙汰される中、本市におきまして心温まる出来事がありました。それは十月中旬に下林町の国道二一九号で起きた自動車事故に遭遇した下校途中の中学生数人が年配の運転手を救助して後部座席へ移し、救急車を待つ間、事故車両周辺の安全誘導を行ったというものでした。このことは、後日、中央消防署から学校へのお礼の連絡で、第二中学校の三年生五人であったことが判明したのですが、大人でもためらうような事故現場において、人命を守ることと道路交通への配慮を瞬時に判断し、五人で適切な行動に至ったことをお聞きし、とても感動をいたしました。これまで地域学校協働本部事業等を通して、地域の皆様に長年見守っていただいた子供たちが、このように成長し、自分たちが暮らすまちに貢献をしてくれたことに、この子供たちにはもちろんのこと、日頃から温かい眼で子供たちを見守りいただいている全ての地域の方々にも心から感謝を申し上げたいと存じます。

この秋、日本で開催されましたラグビーワールドカップ二〇一九日本大会は、世界最高峰のプレーを間近に楽しむだけではなく、勝利に向けた飽くなき闘争心とボールをつなぐひた向きなプレー、そして、試合終了後に激しくぶつかり合った者同士が健闘をたたえ合う姿に多くの方々が感動されたものと思います。特に日本代表には、様々な文化を持つ選手たちがワンチームとして厳しい練習で磨いてきた戦術と高い精神力をもって強豪国に挑み、堂々と競い合った末につかんだ勝利に、誰もが魂が震え、惜しめない拍手を送ったのではないのでしょうか。

私たちは、日頃から職場や地域といった組織やコミュニティの中で暮らしながら難しい課題や困難な問題に直面することがありますが、心一つにして考え行動するならば可能性が無限に広がることに改めて気付かされるなど、日本中が、夢と感動を与え、活力ある健全な社会の形成に大きく貢献するというスポーツが持つ意義に包まれた一箇月半でありました。

そのワールドカップが開催されている最中、十月十二日に伊豆半島に上陸した台風十九号は、関東地方や甲信地方、東北地方において、記録的な豪雨災害と甚大な被害をもたらしました。福島県をはじめ六県では、百四十箇所にわたり河川の堤防が決壊し浸水被害が、また、宮城県ほか十九都県では、九百五十件を超える土砂災害が発生するなど、人的被害や住家等の物的被害が各地で拡大する中、九十八人の方々の尊い命が失われました。お亡くなりになられた方々の安らかなる眠りをお祈りいたしますとともに、被害に遭われた方々へ心からお見舞いを申し上げます。

国におきましては、早急に激甚災害、非常災害の指定を行い、被災者生活再建支援法が千葉県をはじめ八県に適用されるなどの対策が講じられたところでございますが、一刻も早い復旧・復興と、被災された方々の生活再建が進むことをお祈りいたします。

風水害における防災対策は、球磨川が流れる本市におきましても重要な課題であり、本年度から球磨川水害タイムラインの運用を開始しているところでございます。しかしなが

ら、全国各地で本川はもとより支川の氾濫や土砂災害に伴う大規模災害が発生している現状から、球磨川本川、支川においても、同時に起こり得る複数の災害に対する行政の事前行動計画を策定する必要性を強く認識しております。今月一日に人吉市マルチハザードタイムラインの策定に向けた第一回検討会を開催いたしました。

この検討会は、東京大学大学院客員教授松尾一郎氏を座長とし、国土交通省八代河川国道事務所、川辺川ダム砂防事務所、熊本地方気象台、熊本県及び本市で構成しております。今回は万江川など防災上の重要箇所を視察し、本市の現状と課題等を確認いたしました。全国で初めての取組ではありますが、今後、検討や協議を重ね、来年二月をめどに人吉市マルチハザードタイムライン試行版を完成させ、来年度からその運用を開始し、風水害等における更なる防災体制の強化を図ってまいります。

市庁舎移転建設関係でございますが、前年度から新市庁舎建築本体工事等の入札不調、不落が続いておりますが、本年度に実施した三回目の入札手続を経まして、三井住友・丸昭特定建設工事共同企業体との仮契約の締結に至ったところでございます。

市議会並びに市民の皆様には、入札等の遅れにより御心配をおかけし、市庁舎機能が分散する期間を更に延伸するなど、大変御不便をおかけすることになりました。今後は、本契約を締結し、災害対策機能を十分に發揮できる防災拠点としての総合庁舎の実現を強力に推し進めてまいりますので、市議会におかれましても、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

第六次人吉市総合計画関係でございますが、去る十月十一日、本計画の策定について人吉市総合計画策定審議会に、また、第二次人吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定については、人吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会にそれぞれ諮問いたしました。

総合計画策定審議会においては、「都市基盤・産業」、「教育文化・行政」、「福祉健康・環境安全」の三部会を設置していただき、本計画の策定方針、本市の人口動態や社会潮流についての現状認識、まちづくりの理念や目指すべき将来都市像といった基本構想部分から基本計画に至るまで、様々な角度から活発に議論していただいております。

一方、まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会では、本計画における本市に仕事をつくり安心して働けるための施策や本市に新しい人の流れをつくる施策などについて、深く議論をいただいております。

今後は、更に多くの意見を反映するため、パブリックコメントを実施し、市民の方々の御意見を集約した後に、来年二月をめどにそれぞれの審議会から答申を頂くこととしております。

川上哲治生誕百年記念事業でございますが、今月二十三日、石野公園において蒲島郁夫熊本県知事にも御出席いただき、川上イヤーの幕開けを飾るオープニングセレモニーを開催し、併せて記念事業の第一弾となる「川上哲治氏の偉業を伝える企画展」を開始しました。企画展は、背番号「16」のユニフォームやトロフィー、写真などを展示し、郷土の偉人でもある川上氏の生い立ちからプロ野球選手及び監督としての往年の活躍とプロ野球史にさん然と輝く足跡を本市の魅力と織り交ぜながら紹介することとしており、当日から

多くの皆様に御来観いただいたところでございます。

また来月八日には、人吉市カルチャーパレスにて、往年の巨人軍選手である王貞治氏、末次利光氏などをお招きし、V9戦士記念トークショーの開催を予定しており、川上氏の監督像や人柄から、現代にも通じるお話が聞けることを私も楽しみにしているところです。

そのほか、小学生から社会人までの各クラスによる記念野球大会、少年野球教室やシニアを対象とした生涯野球大会の創設など盛りだくさんのイベントを開催する予定としており、県や読売グループ各社の御協力を賜りながら、郷土が生んだ「打撃の神様」川上哲治氏の偉大な功績を顕彰するとともに、川上イヤーを通してにぎわいを創出してまいります。

球磨川流域の治水対策でございますが、球磨川治水対策協議会の第四回整備局長・知事・市町村長会議が今月十三日に開催されました。今回の会議では、引堤、河道掘削等、堤防かさ上げ、遊水地、ダム再開発、放水路の中心対策案と補完対策案を組み合わせた十案が示されたところです。本市といたしましては、今回示された十案の内容について関係各位と議論を深めていくとともに、引き続き、国、県、流域市町村と一体となって球磨川流域の治水対策に取り組んでまいります。

ふるさと納税でございますが、本年度は返礼品を出品されている生産者や事業者等と更に連携を深め、モノだけではなくヒトを通して本市の魅力を伝えるべく、内容を大幅にリニューアルしたパンフレットを作成し、東京織月会総会などの機会を捉え、これまで以上にPR活動を行っているところです。現在の状況については、十一月二十日現在で寄附件数が六千四百二十八件、寄附額は一億三千三百六十四万円となり、前年度の同時期と比較して寄附件数では五五パーセントの増、寄附額では二五パーセントの増で推移しております。

ふるさと納税は、これから師走にかけて一年で最も寄附が増える時期を迎えますので、昨年度寄附をいただいた方に寄附金の使途に関する報告書の送付を行うなど、全国の自治体の中から本市を選んでいただけにできるだけ更にPRに努めてまいります。

マイナンバーカード関係でございますが、国は国民がマイナンバー制度のメリットをより実感できるデジタル社会を早期に実現するため、マイナンバーカードの普及、その利活用に向け、円滑な取得、更新の推進を図ることとしています。本市では、今月から来年二月までの間、毎月一回、日曜日に開庁し、マイナンバーカードの取得やオンラインによる申請手続きの支援などを実施することとしております。今後もマイナンバーカードの円滑な取得促進に向け、計画的な取組を進めてまいります。

高齢者福祉関係でございますが、地域包括支援センター業務の委託につきましては、委託基本方針、公募型プロポーザル実施要領を定め、十月一日から公募を行いましたところ、社会福祉法人人吉市社会福祉協議会の一者から参加申込書及び運営計画提案書の提出がありました。審査の結果、同協議会を受託候補者として決定したところでございます。今後は契約に向けた協議を行い、十二月上旬には委託契約を締結したいと考えております。

契約締結後は、高齢者との信頼関係を維持しながら、専門性を活かし、地域に密着したきめ細やかな支援を実施するセンター機能を円滑に移行できるよう、来年四月の業務委託

に向けて、準備を進めてまいります。

農業振興関係でございますが、今日九月、十日の両日、第七十回ひとよし産業祭が開催されました。今回は初めて人吉クラフトパーク石野公園で開催しましたことから、出店ブースの配置、御来場者の動線や駐車場の確保など様々に心配してりましたが、会場が道の駅ということもあり、市内外から多くのお客様に御来場いただき、これまでとはまた違った会場のにぎわいを感じたところでございます。開催に際し、実行委員会の皆様をはじめ御協力いただきました企業や市民の皆様から感謝申し上げます。

人・農地プラン関連事業でございますが、永野地区におきましては、農家の高齢化や担い手不足による耕作放棄地の拡大を抑制し、農地を保全するための受け皿となる営農改善組合の設立に向けた協議を昨年から地元農家の皆様と共に行ってまいりました。

その結果、永野地区の農家の皆様の御尽力により、去る十月二十四日には、永野地区営農改善組合を設立されたところです。今後は、同組合において県の農地集積等交付金を活用し、地域の中心となる担い手に農地の利用集積が進められますので、本市としましても、引き続き、球磨地域農業協同組合など関係機関と連携しながら持続可能な農業を推進してまいります。

畜産関係でございますが、平成三十年八月以降、ASF（アフリカ豚コレラ）がアジア地域で急速に拡大し、我が国への侵入が警戒されております。国は野生イノシシを介したウイルスの感染経路遮断対策として、野生動物侵入防護柵の整備を支援するASF侵入防止対策緊急支援事業を発表し、家畜伝染病の発生の予防を実効あるものにするために家畜伝染病予防法で定める飼養衛生管理基準を改正したところです。そのため、本市においてもその対応が急がれるところであり、市内の養豚農場への支援として、国や県の緊急支援事業に併せて農家負担分の一部を補助することで家畜伝染病の予防対策に努めてまいります。

商工振興関係でございますが、中心市街地活性化につきましては、様々な立場や考え方を関係者が互いに理解し合い、自らの問題として捉え、地域住民や不動産オーナー、民間事業者などが一体となって解決策を導き出す視点が重要であると認識しております。この視点に基づき、本年度は、空き家、空き地等遊休不動産の有効活用による活性化手法として全国的にも注目されておりますリノベーションまちづくりを推進していくため、株式会社ワークビジョンズの西村浩氏をお招きし、人吉TMO主催による「リノベーションまちづくり実践ミーティング」を三回にわたり開催します。

今日十八日に開催されました第一回目では、当事者意識を持つ実践人材によるチームが、今あるものを活用してエリア価値を高めることを目標に定め、まずは小さなエリアからスタートすることが大事であるとするリノベーションまちづくりの考え方について講演され、多くの参加者に共感いただきました。本年度は、実践ミーティングを通して参加者と共に実践計画を作成してまいります。

観光振興関係でございますが、日本百名城人吉お城まつりにつきましては、去る十月三十一日の実行委員会全体会議におきまして、これまでの事業検証を踏まえ、平成二十年度

から本年度まで十一回にわたり開催されました人吉お城まつりの歴史に幕を下ろすこととし、実行委員会の解散の決議がなされたところでございます。

来年以降の人吉お城まつりに代わるイベントにつきましては、明日二十六日に、民間の方々を中心に新たに立ち上げられる予定の準備組織におきまして、市民の満足感やまちなぎわいが創出できる手法を検討されることとなっております。本市としましては地域経済に寄与する「持続可能なイベントの創造」について、官民協働で取り組んでまいります。

土木関係でございますが、曙橋補修工事につきましては、事業の最終年度として、今年十四日に、下部工の補修工事に着工したところでございます。この補修工事は、インフラ施設である橋梁の長寿命化に資するものとして、本市の橋梁長寿命化修繕計画に基づき国の大規模修繕・更新補助事業を活用し実施しているところであり、工事終了後は、本市の球磨川上流部における道路運行の安全に大きく寄与するものと捉えております。

都市計画関係でございますが、街路事業として取り組んでおります都市計画道路下林願成寺線につきましては、平成二十九年度から工事に着工しております。本年度は一部水路の布設工事、歩道及び一部車道の舗装工事を実施しております。周辺にお住いの方々や当該道路を利用される皆様には、御不便と御迷惑をおかけしておりますが、事故のないよう安全に努めてまいりますので、更なる御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

社会教育関係でございますが、来年五月六日に本市で開催されます東京二〇二〇オリンピック聖火リレーにつきましては、来月組織委員会において聖火リレールートを発表することとされています。これを受けまして本市では、聖火リレーの準備に本格的に取り組むこととしており、今後、東京オリンピック開催の機運の高まりと合わせ、本市における聖火リレーが盛大に実施できるよう組織委員会をはじめ熊本県実行委員会や実施市町村との連携を強化してまいります。

熊本県で今年三十日から開催されます二〇一九女子ハンドボール世界選手権大会につきましては、急ぎよ、本市がキューバ共和国チームの事前キャンプ地として選定されました。キューバ共和国チームは、今年二十二日に本市に入り、二十九日までの間、本市及び山江村を会場として大会に向けた最終調整を行うこととしております。対応としましては、歓迎行事やエクスカーション等も予定しておりますが、大会直前の合宿ということで選手のコンディション等に最大限配慮することをおもてなしの第一としていただいております。キューバ共和国チームの受け入れにつきましては、準備期間が短い中、県をはじめ人吉市ハンドボール協会、人吉商工会議所など多くの団体、関係者の方々に御支援と御協力いただいているところであり、この場をお借りしまして心からお礼を申し上げます。

上水道事業関係でございますが、発掘調査のため事業を延期しておりました原城配水池の造成工事につきましては、現在、原城配水池敷地と市道城内原城線の境界法面を補強する擁壁工事を実施しております。そのため、同市道の一部区間で片側交互通行を実施しており、近隣住民の方々や当該道路を利用される皆様には御迷惑をおかけしておりますが、工事の早期しゅん工に努めてまいりますので、引き続き、御理解と御協力をいただきます。

ようお願い申し上げます。

また、来年度から実施します上下水道料金徴収事務等に係る業務委託につきましても、人吉市上下水道料金徴収事務等業務委託業者選定委員会を設置し、プロポーザル方式による公募を行い、業者選定委員会の意見を踏まえ委託先を決定したところでございます。今後は、来年四月からの料金徴収事務等が円滑に移行できるよう準備を進めてまいります。

次に、令和二年度予算編成に向け、その方針を定めましたので御報告いたします。

国は、人口減少・少子高齢化の進行、第四次産業革命の到来、生産性と成長力の伸び悩みなど、我が国が直面する様々な課題を克服し、持続的かつ包摂的な経済成長の実現と財政健全化の達成を両立させていくことを最重要目標とした「経済財政運営と改革の基本方針二〇一九」を、去る六月二十一日に閣議決定をしています。

令和二年度予算は、この基本方針を踏まえ、手を緩めることなく本格的な歳出改革の取組を強化するとともに、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化しております。

また、県は、平成三十年八月に公表した「中期的な財政収支の試算」において、令和三年度から五年度までの間に毎年度八十三億円から九十五億円の財源不足が生じることが見込まれるとしております。令和二年度の予算編成要領によると、予算の収支見通しについて、一般行政経費を対前年比九五パーセントで要求した場合でも十億円が不足するとしており、熊本地震からの復旧・復興に加え、熊本の更なる発展につながる必要不可欠な取組を推進する中、熊本地震関連事業の県債償還が本格的に始まることも踏まえ、引き続き財政健全化に取り組み、これまで以上に将来負担を意識した予算編成に努めるとしています。

一方、本市におきましては、令和二年度は、現在策定しています第六次人吉市総合計画前期計画の初年度となり、新しいまちづくりを計画的に推進していくためにも重要な年度と捉えております。

しかしながらここ数年、財源不足を財政調整基金、減債基金で補う予算編成が続いており、この状況が続いていくならば、一年先には基金がほぼ枯渇し、新しい事業の推進だけではなく、教育、福祉、子育てなどの市民生活を支える既存の基礎的な行政サービスさえも、確保することができなくなることを危惧するところであります。

そのためにも人吉市行財政健全化計画に基づき、徹底した事務事業等の見直しを行うとともに、様々な地域課題の解決については、市民団体や企業等との協働を推進し、事業構築にあたっては、民間活力の活用を積極的に検討していくことが引いては、本市の新しいまちづくりに向けた基礎にもつながるものと考えています。

そのようなことから、令和二年度予算編成にあたっては、人吉市行財政健全化計画のもとに大変厳しい状況下で進めることとなりますが、これまでの概念に捉われない抜本的な業務の見直しや歳入の最大限の確保、事業の圧縮を視野に入れ、この厳しい財政状況を乗り切らなければ本市の将来はないという強い覚悟を持って取組を進めてまいります。

議員各位をはじめ市民の皆様におかれましても、この趣旨を御理解いただき、今後の改革改善に特段の御協力、御協賛を賜りますようお願い申し上げます。